

SDGs／ESGへの取組み



三重県、東京海上日動火災保険株式会社との連携

三重県が実施する「三重県SDGs推進パートナー登録制度」を活用し、当行、三重県、東京海上日動火災保険株式会社が連携して三重県内の事業者に対しSDGsの普及啓発を図り、地域課題の解決と県内経済の発展を図る取組みを進めています。

登録制度開始後、わずか1年余りで申請件数1,000件を突破しました。さらなるSDGs推進における取組みの広がりや質の向上を図るため2023年1月に「三重県SDGs推進セミナー」を開催しました。



第4期後継者育成塾を開講

当行グループは、お客さまの事業承継支援の一環として、「第4期百五後継者育成塾」を開講し、20代から50代の若手経営者と経営幹部24名が参加しました。百五後継者育成塾は、事業承継の必要性や対応策、経営者に求められるマネジメントについての



知識習得とともに、業種や年齢を超えたネットワークづくりの場の提供を目的としています。今回の育成塾から、後継者世代で特に関心が高いと考えられる、「事業承継」、「SDGs」、「ICT」の3つのテーマについて、当行の専担者を講師とした講義も行いました。

SDGsコンサルティング業務

SDGsに本質的に取り組む意向のあるお客さまを支援するため、当行オリジナルのチェックシートにもとづくSDGs評価、対外的なPRのためのSDGs宣言の策定支援などを行っています。また、SDGsの本質を短時間で楽しく理解できる体験型カードゲームを通じて、SDGsの浸透のみならず、お取引先の従業員同士のコミュニケーション向上にもつながる取組みも進めています。参加された方からは、「カードゲーム開始前と後では考え方が変わった」、「自身の利益（ゴール）だけに目を向けるのではなく、世界の状況に目を向けるとともに周囲（他チーム）と共同・連携して取り組むことが大切だと感じた」など、非常に有意義であったとの声をいただいています。



金融経済教育

金融リテラシーの向上をサポートする取組み

2022年に高等学校の金融経済教育が必修化され、教育委員会や教職員からのサポート依頼が増加しています。当行では平成14（2002）年から金融経済教育の取組みを継続しており、力を入れている分野です。今後も三重県のリーディングバンクとして、次世代を担う若者への金融経済教育を積極的に展開していきます。

また、子ども・若者の金融教育、金融包摂推進のための国際的啓発活動であるGlobal Money Week（グローバルマネーウィーク）への参加を表明し、2023年3月にセントヨゼフ女子学園17名・四日市工業高等学校約550名の生徒を対象に金融リテラシー講座を開催しました。金融リテラシー講座のほか、当行本部棟にある歴史資料館の紹介も行いました。



エコノミクス甲子園

2011年から毎年、認定NPO法人金融知力普及協会と当行の共催で全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の三重大会を開催しています。本大会は、金融経済情勢の多様性にともない金融知力の普及が必要とされているなか、高校生に楽しみながら、金融経済を学びきっかけを提供することを目的としています。

2022年12月に開催された第12回の三重大会は、昨年に引き続きオンライン形式で実施されました。三重県内の高校8校から17チーム34名の高校生が参加し、金融知力を競いました。本大会では、津市の高田中・高等学校のチームが優勝し、三重県代表として、2023年2月に対面形式による全国大会に出場しました。



地域の環境保全活動

持続可能な循環型社会をめざし、2006年から森林保全活動に取り組んでいます。百五の森（多気町丹生）では三重県、多気町、NPO法人とともに当行役員や新入行員が林内整備や遊歩道の整備などに取り組んでいます。また、各営業店においてもそれぞれの地域で森の整備活動や商店街、河川、海岸の清掃活動に取り組んでいます。



ボランティア活動

ウォーカソン

津市にあるセントヨゼフ女子学園主催のボランティア活動「ウォーカソン」に行員13名が参加し、津市内の10kmのコースを同校の生徒の皆さまをはじめ、学校関係者の方々と歩きました。ウォーカソンは募金活動の一つで、参加者が歩いた距離に応じて自ら探したスポンサーから事前に約束していた募金を受け取るというものです。今回、集められた募金はシエラレオネ、フィリピンの人々の教育支援のほか、国境なき医師団、シロアムの園（ケニア）への募金として使われる予定です。



ユネスコ「書きそんじハガキ・キャンペーン」、ユニセフ「外国コイン募金」への協力

毎年、三重県ユネスコ連絡協議会が実施している「書きそんじハガキ・キャンペーン」に参加しています。ポストに投函されていない未使用の郵便ハガキや年賀ハガキの回収を行内で呼びかけ、集まったハガキを三重県ユネスコ連絡協議会に届けています。また、2007年4月から当行の19か店にユニセフ「外国コイン募金」を設置しています。



これらの回収されたハガキや外国コインは、同機関でそれぞれ現金化され、紛争や自然災害、貧困などで苦しむ人々への教育や衛生、栄養、緊急支援などの支援活動に使われています。

スポーツ振興への取組み

当行では、全日本卓球選手権大会をはじめ数々の国際大会などで活躍する津市出身の戸上 隼輔選手のスポンサーとして応援しています。

また、2022年12月、三重県初のフルマラソン「みえ松阪マラソン2022」が開催され、当行はプラチナパートナーとして協賛しました。当行グループ職員のランナーでの参加をはじめ、給水所ボランティアやトンネルイルミネーション企画（SBPマッピング）などに参加しました。

今後もスポーツ大会への協賛やトップアスリートの活躍等を通じ、地域の皆さまと喜びを味わうことで、豊かな地域社会の実現に貢献したいと考えています。



©卓球レポート/バタフライ